

## 表彰されたお料理の本のアプリをつかって自信がつく

お料理大好きアプリは機能低下者が自分で料理をする手伝いをしている。アリングソース市がこのコンセプト開発に加わってきたが、今回また新しい大きな賞を受賞した。

レーナ・イヴァーは、アリングソース市内のサービス住宅内のアパートで暮らしているが、今回のアプリ開発に加わり、アプリをテストした一人だ。レーナと支援者のロッタ・パーションが、アプリがお料理の本だが、調味品やこういった調理器具が必要かを教育的に指示していることを見せてくれた。また、簡単に買い物表や1週間単位のメニューも作れ、テーブルセッティングをどうするかのアドバイスもついている。

「すごく良い補助器具です。」と、今日は、燻製のサーモンをのせたパンケーキを調理しているレーナ・イヴァーが語っている。

このお料理用アプリを開発したのは、家計をまかなう仲間会社西部地区で、開発プロジェクトは、2012年から開始された。開発関係のリーダーのマルガレータ・フロスト＝ヨハンソンは、ボロース市の栄養に関する教育担当者から、料理の新しいツールが必要だと連絡を受けた。

「何とかしなければならぬと思いました。当時は、アプリはそんなに普及していませんでした。でも、私達は、何かモダンで皆が魅力的だと思うものが良いと思いました。」と、マルガレータ・フロスト＝ヨハンソンは語っている。

その結果が、お料理大好きであり、さらにお料理大好きをさらに発展させたものとなった。このアプリでは、言語とフィルムで指示している。アプリが使いやすくなるために、家計をまかなう仲間会社では、ボロース市とアリングソース市の事業体からサポートしてもらった。これらの事業体内で生活する利用者達は、レシピを試してみ、いろいろな料理の提案をしてくれた。

「事業体が最初からかかわっているのは、とても重要なことで、利用者達の要望も、いくつか組み込んでいます。」

アリングソース市では、ロッタ・パーションがアプリ開発に熱心で、お料理大好きアプリ開発のコントロールグループに入っていた。ロッタ・パーションは、このアプリが、様々の面で、ポジティブな効果があることは明白だと感じている。

「自分で買い物をし、料理できることにより、より大きな自信がつきます。このアプリを使っている人達は全員非常に多くを学びました。」

ロッタ・パーションは、お料理大好きアプリは、自分でお料理が出来るようになりたい子供なども含み、皆に適していると強調している。レシピには、いろいろな種類があり、栄養も十分考慮しており、同時にお料理を楽しいものになっているのだ。

「アプリは、ああしなさい、こうしなさいと指導するものではなくて、やる気を出させるものにしたいのです。」

お料理大好きアプリは、無料なので、スウェーデン国内で利用され、すでに20万回もダウンロードされている。このコンセプトは、様々の場所で賞を受けてきたが、最新のものは、家計をまかなう仲間会社西部地区が、ダーゲンス サムヘル新聞が与えている、今年の実業家賞を受賞したことだ。

「素晴らしい！ 私達が受賞した全国レベルでの賞のなかでも最高のものだと思います。」と、マルガレータ・フロスト＝ヨハンソンは語っている。

**ロッタ・パーションも**、ストックホルムの受賞式に出席した。ロッタは、アプリの利用者皆にも、授賞式のキラキラ輝く余韻伝えようとアリングソースに帰ってきた。

「私は、皆も一緒にお祝いするべきだと思います。今回の受賞で、利用者グループのみんなも注目されるでしょう。」

お料理大好きアプリの後に、家計をまかなう仲間会社は、同じテーマで、いくつものアプリを開発している。現在では、利用者達が体を動かそうという気になるようにするための、歩き大好きアプリの開発中だ。

「現在テスト中ですが、少しポケモン ゴー に似ていて、歩くのを忘れてしまいがちです。」と、ロッタ・パーションは語っている。